



大須賀幸雄



動画配信中

農業用水路の早期復旧を！

台風第19号により損壊等が生じた取水堰や取水口の早期復旧を図るため、復旧工事費等を市で負担できないか。

産業観光部長

被災した取水堰等の農業用施設の復旧は、一カ所の工事費が40万円以上となる大規模災害については国庫補助事業として市または土地改良区が事業主体となつて復旧工事を行い、その金額に満たない小規模な工事についてもできる限り市の単独事業として施工していく。工事実施までに時間を要する箇所もあるが、来春の耕作に間に合うよう取り組んでいく。

住民の意識改革

自治会長や防災リーダーを対象とした防災研修会を開催し、市役所担当部署との意見交換や専門家による講演を聞くなどの機会を設けてはどうか。

総務部長

防災・減災のためには行政と地域が一体となつて対処することが重要であり、日ごろから情報交換を行うことは大変重要であると考えます。行政と地域の連携をさらに強化するため、地域防災の中心となる自治会長や防災リーダーとの意見交換の場を設けられるよう検討していきたい。



鳥井 康子



動画配信中

台風第19号の被災者への対応について問う！

防災証明書の内容に不服がある場合、再調査を依頼することが制度として可能であるが、その点を市民にどのように周知しているのか。

総務部長

防災証明書を交付する際の通知文に、住家被害等の再調査を依頼できる旨を記載しているほか、住宅応急修理制度等に関する地元説明会の機会を捉えて説明してきた。今後も引き続き市民に寄り添った対応をし、再調査の希望があつた場合は、申請に基づき調査を実施していく。

内水氾濫への備え

内水氾濫を防ぐための排水機場については、早急な設置は困難ということであるが、調整池の設置については検討されているのか。

都市建設部長

調整池の設置は内水氾濫による浸水被害の軽減のために有効な方策であり、仮に尾名川や出流川に設置する場合、適地を考慮すると県管理の区間への設置が考えられる。調整池の設置には広大な用地の確保と適切な維持管理が必要になることから、今後河川管理者である県の考え方も十分に確認し、調査研究していきたい。



尾関 栄子



動画配信中

災害時に対応できる消防署を！

台風第19号により東分署が浸水した。東部地域の防災・救急の拠点となる東分署の移転と、廃止予定となつている南分署の建て替えを含めた計画を早急に立てるべきではないか。

消防長

東分署は運用開始以来初めて浸水被害を受けたことから、大規模自然災害に対する有効な予防手段等を講じ、引き続き東部地域の防災責任を果たしていきたいと考えている。また、南分署については隣接する他の署で管轄区域をカバーできると考えており、南分署廃止に伴い組織の見直しを行い、消防力の充実を図っていく。

福祉の向上

老人福祉法を根拠としてつくられた四つの幸楽荘の中で、南幸楽荘は公共施設のアンケートが全体の利用率40%を占める。壊れた入浴施設を地元業者に相談し、南幸楽荘を維持管理すべきではないか。

健康福祉部長

南幸楽荘は故障した給湯ボイラーだけでなく、そのほかの施設老朽化も著しいために今後多くの修繕が必要となり、また耐震基準も満たしていないことから入浴施設は廃止とした経過がある。